

## 1.はじめに

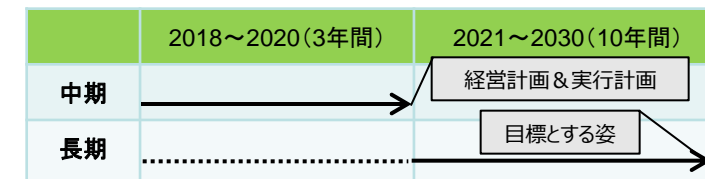
大東ガスは1961年の創立以来、「公益事業の使命に徹し保安の確保、サービスの向上に努め、ガスの安定供給を旨とし、永く地域社会の発展に貢献する」ことを基本的理念とし、さらに「人・街・未来にやさしい 大東ガス」をコーポレートスローガンとして、天然ガスの普及促進を事業の中心として様々な取り組みを進め、50年を超える永きにわたり、地域の皆さまとともに歩んできた。

そのような中、2017年4月のガスシステム改革に伴う都市ガス全面自由化により、エネルギー業界は今までにない変革の時を迎えることとなり、当社としては環境の変化と激化する競争に、いかにして迅速かつ適切に対応していくかが喫緊の課題であると認識。

そこで、当社が今後も永続的に成長を遂げていくために、明確なビジョンを定め、それに向けて事業を推進していくことを目的として「大東ガス経営計画&実行計画」を策定。当社はこれからも地域のお客さまとの絆を大切に、お客さまに快適な生活をお届けし、豊かな社会と明るい未来を実現するため、そして当社がこれからも地域で愛され必要とされる企業であり続けるために「**Jump Up 2030** ~更なる飛躍を目指して~ 大東ガス経営計画2030」（以下、「**Jump Up 2030**」（ジャンプアップ ニーマルサンマル）という。）の達成に向けて全力で取り組む。

## 2.期間の設定

2018年～2020年までの3年間を対象期間とし、「**経営計画**」と「**実行計画**」を策定。また、13年後の2030年までの「**目標とする姿**」も策定し当社が目指す姿を明確化。



## 3.当社が目指すこと ~コンセプト~

『私たちは、今まで以上にお客さまとの絆を深め、  
地域社会から信頼され、選ばれ続ける企業を目指します。』



## 4.当社が目指すこと

### 1. 天然ガス（都市ガス）を基軸として、安定的に最適なエネルギーをお届けし続ける。

- ◇天然ガスの普及拡大を図っていくこととし、都市ガス販売を中心に事業を展開。
- ◇お客さまに安全・安心なエネルギーを安定的にお届けするために、お客さまの増加に対応した設備の整備や経年設備の高度化、地震などの災害に向けた対策に積極的に取り組む。
- ◇都市ガス販売を中心としつつ、電力事業をはじめとする総合エネルギーを提供し続ける。

### 2. お客さまとの関係を「シンカ」させ、お客さまに選ばれ続ける企業を目指す。

- ◇地域やコミュニティーとの結びつき、そして何よりもお客さまとの絆と信頼関係を大切に、引き続き関係性の強化を図り、お客さまから選ばれ続ける企業を目指す。
- ◇お客さまの目線に立った質の高い付加価値サービスの提供を目指すとともに、多様化、複雑化するお客さまのニーズに合わせたソリューション提案を行なう。もってお客さまの、「快適性・利便性・環境性・経済性・安全性を備えた豊かな暮らし」の実現に寄与。
- ◇総合エネルギーとともに様々な付加的なサービスを提供することにより、お客さまの豊かな暮らしをサポートするため、「生活総合支援サービス」の拡充と発展を図る。

### 3. 競争力を高め、経営基盤の強化を図る。

- ◇このガス自由化をチャンスととらえ、様々なことにチャレンジしていくと同時に、変革を積極的に行い、常に創造的な事業展開を図っていく。また、他事業者とのアライアンスの可能性を積極的に模索し、現状にとどまることなくさまざまな事業発展の可能性を検討。
- ◇サービス店をはじめグループ会社との連携をさらに強固なものにし盤石の体制を整備。また、業務や経費の徹底的な効率化や削減を図ることにより、経営基盤の強靱化、スリム化を図る。
- ◇グループ会社を含めた社員ひとりひとりが、いきいきと仕事に取り組む職場環境を醸成するとともに、組織にとって最も重要な人材の育成に努め、個人、組織、企業レベルの向上を図る。

## 5.経営指標

1.ガスお客さま件数 2020年までに117,288件	2030年までに135,000件
2.ガス販売量 2020年までに122,056千m <sup>3</sup>	2030年までに150,000千m <sup>3</sup>
3.ガス普及率 2020年までに55.6%	2030年までに63.2%
4.でんきお客さま件数 2020年までに15,000件	2030年までに40,000件
5.でんき販売量 2020年までに106,123千kWh	2030年までに300,000kWh
6.売上高 2020年までに14,686百万円	2030年までに20,000百万円
7.当期純利益 2020年までに425百万円	2030年までに600百万円
8.自己資本 2020年までに12,100百万円	2030年までに15,000百万円
9.ガス導管延長数 2020年度末1,050 k m	2030年度末1,350 k m

## 6.具体的な取り組み

「**Jump Up 2030**」の実現に向け、以下の4に重点を置き、グループ各社一丸となって取り組む。

### 1.「ガス事業に係る競争力強化」のための対策

- ・ガス顧客の新規獲得
- ・ガス顧客の囲い込みと他社スイッチング防止
- ・ガス料金の多様化と低廉化
- ・サービスの向上
- ・他事業者との連携や見直しによる競争力強化

### 2.「新たなサービスの創出と付帯サービスによる競争力の強化」のための対策

- ・「DAITOでんき」の新規獲得・脱落防止
- ・既存のサービスの見直しと変革
- ・取り巻く環境の変化への対応

### 3.「安全・安心と安定供給、保安の維持向上」のための対策

### 4.「経営基盤強化」のための対策

- ・基盤整備の強化
- ・社内業務体制と社内制度の改善
- ・人材育成と組織力の強化